

## MC-Media Pad™

サニ太くん®/Sanita-kun

## 価格表 &amp; 注文書

TEL:043-306-1531 FAX:043-306-1541

断然おトクな  
自社内での検査  
寒天培地と比べても  
手軽で省スペース



## ご注文納品先

所属会社・機関名	部署・役職
お名前	メールアドレス
所在地 〒	TEL: FAX:
請求先(納品先と異なる場合にご記入ください)	

MC-Media Pad サニ太くん	枚数/箱	1枚単価	1箱(税別)	数量(箱)	
一般生菌用	100枚	@100円	10,000円		AOAC-PTM 認証済
	1000枚	@80円	80,000円		
ACplus (一般生菌用)	100枚	@145円	14,500円		MicroVal AOAC PTM 取得予定
	1000枚	@120円	120,000円		
大腸菌群用	100枚	@100円	10,000円		AOAC-PTM 認証済
	1000枚	@80円	80,000円		
CC (大腸菌群用)	100枚	@100円	10,000円		MicroVal AOAC PTM 取得予定
	1000枚	@80円	80,000円		
大腸菌/大腸菌群用	100枚	@150円	15,000円		AOAC-PTM 認証済
	1000枚	@120円	120,000円		
EC (大腸菌/大腸菌群用)	100枚	@150円	15,000円		MicroVal AOAC PTM 取得予定
	1000枚	@120円	120,000円		
サルモネラ用	100枚	@200円	20,000円		
	1000枚	@150円	150,000円		
SA (黄色ブドウ球菌用)	100枚	@150円	15,000円		AOAC-PTM 認証済 MicroVal 取得予定
	1000枚	@120円	120,000円		
YM (真菌用)	100枚	@180円	18,000円		AOAC-PTM 認証済 MicroVal 取得予定
	1000枚	@150円	150,000円		

オプション 資材	仕様	単価	1箱(税別)	数量(箱)	
滅菌希釈水 90mL	60本	@110円	6,600円		リン酸緩衝生理食塩水
滅菌希釈水 9mL	400本	@46円	18,400円		
滅菌フィルターバッグ	500枚	@20円	10,000円		190x300mm 0.065mm
ふきとり検査キット	100本	@99円	9,900円		滅菌生理食塩水入 10ml ふき取り用綿棒付き
	400本	@88円	35,200円		
滅菌スポイト	500本	@17.6円	8,800円		1ml用 個別包装

Rev.2017/07

# シート状培地 MC-Media Pad 微生物検査で何が必要？

固形食品の一般生菌と大腸菌群を試験する場合		備考 必要器具資材
1	試料を滅菌バッグに入れ、9倍量の滅菌希釈水を加えて、ホモジナイズ(均質化)する。	10倍希釈液という。 本来は試料 25g + 希釈水 225mL だが、試料条件等により増減することが多い。 ◎滅菌バッグ ◎滅菌希釈水 ◎滅菌済み採取秤量器具 △ストマッカー △バッグ立て △バッグクリップ
2	10倍希釈液 1mL をとり、希釈水 9mL で希釈。 100倍希釈液 1mL をとり、希釈水 9mL で希釈。 ： 必要に応じさらに段階希釈液を作製。	それぞれ 100倍希釈液、1000倍希釈液という。 ◎滅菌希釈水 ◎滅菌ピペット(スポイト)
3	各段階の希釈液 1mL を、それぞれ 2枚の培地シートに滴下、培養する。	一般生菌は各段階液を培養。35°C48時間。 大腸菌群は 10倍液のみを培養。35°C24時間。 ◎MC-Media Pad(サニ太くん)培地 ◎滅菌ピペット(スポイト) ◎恒温培養器
4	発色したコロニー数をカウントする。 検査値を記入する。	コロニー数に希釈倍率を乗じて検査値とする。 一般生菌の場合、コロニー数が 30~300個の段階の培地をカウントして平均をとり、倍率を乗ずる。 △ルーペ観察台 △カウンター
5	シート培地を滅菌して廃棄	オートクレーブによる高圧蒸気滅菌が理想だが、便宜的には水に入れ煮沸処理する。 △オートクレーブ

## ご参考

- ※ 粉ものや液体などは希釈水容器内でシェイクすることで均質化できます。  
固形物はストマッカー(ホモジナイザー)による機械処理がラクですが、マッシャーなどによる手作業も可です。
- ※ 希釈水=緩衝生理食塩水は食塩や試薬を混合することで自家調製も可能、ただし滅菌が必要です。  
滅菌水で代用も可ですが、pH 緩衝能力などを考慮する必要あり。
- ※ オートクレーブ(高圧蒸気滅菌釜)は、器具滅菌・希釈水作成・廃棄処理などができ、とても有用です。
- ※ 真菌検査の場合、25°C培養です。25°C設定可能な恒温培養器(クールインキュベーター)が必要です。

## インキュベーター=必須 小型のものをご用意しました。すべてタイマー付き

品名	税別価格	内容積	設定温度	調節・分布精度	制御・ヒーター等
クールインキュベーター CN-25C	99,800 円	25 L	3~45°C	±0.5°C、±0.4°C	ペルチエ
小型インキュベーター SIB-35CP	69,800 円	35 L	室温+5~60°C	±0.5°C、±1.5°C	シリコンコード
パーソナルインキュベーター SIT-105	69,000 円	9 L	室温+5~60°C	±0.5°C、±1.5°C	シリコンコード

## ストマッカー=検体が多数あるなら必須

品名	税別価格	
ホモジナイザー/バッグミキサー等	お問合せ下さい	実勢 25~30 万円程度。最新情報で各社比較してご提示。

## オートクレーブ(高圧蒸気滅菌釜)=器具・廃棄物の滅菌や希釈水の作製などあれば便利

品名	税別価格	内容積	金網カゴ	温度・圧力
高圧蒸気滅菌釜 KTS-2322	198,000 円	10L	径 210x200mm	110~127°C、0~0.16MPa
高圧蒸気滅菌釜 KTS-2346A	268,000 円	20L	径 210x400mm	110~127°C、0~0.16MPa